



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・斜面の土砂崩れや落石がありそうで、運転していて怖い感じがする。（みどり市民）
- ・線形や見通しが悪くカーブが連続しているため、運転しづらい。（栃木県民）

事業前

- ◆ 急カーブが多く運転しづらく、雨量規制や落石により通行止めが発生しやすい状況です。



事業前の状況（現道）

事業後

- ◆ 急カーブがなくなり円滑な通行が確保されるとともに、雨量規制区間を避けることで災害時の安全な通行が確保されます。



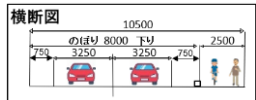
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：みどり市大間々町下神梅～塩原
- 事業内容：延長 約 1.4km 道路幅 10.5m
- 事業期間：平成28年度～

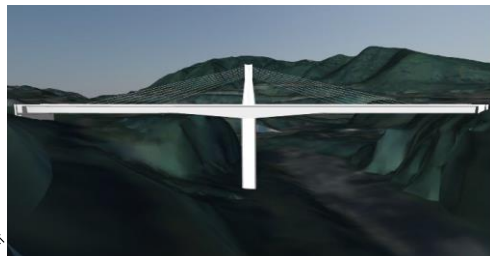


事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は用地買収と橋梁の工事用道路をつくる工事を実施します。



橋梁の完成イメージ

事業のすすみ具合

事業開始

